

# 介護のなかま

2010年10月20日

【発行】生協労連

介護部会事務局

NO. 33

電話：03-3408-0067

fax：03-3408-8955

メール：qyg03057@nifty.com

## 高齢者には安心の介護を 労働者には安定的な雇用を

### 10.18に「介護に働く仲間の全国学習交流会 実行委員会」で厚労省交渉を実施

10月17日に「第8回介護にはたらく仲間の全国学習交流会」を開催した実行委員会は、翌18日に「高齢者には安心の介護を、労働者には安定的な雇用を求め」、厚生労働省との交渉を実施しました。

要請内容は以下の5項目でした。

1. 介護保険における利用者負担の軽減に向け、国庫負担を大幅に増やしてください。
2. 「サービス制限」や「生活支援はずし」をすることなく、必要な介護が受けられる介護制度にしてください。
3. 特別養護老人ホームやグループホーム等の介護施設を増やし、早急に待機者を解消してください。介護療養病床の廃止計画は中止してください。
4. 介護労働者の賃金・労働条件を引き続き改善するために「交付金」を継続し、安定的な人材確保を図ってください。
5. 人員の配置基準を引き上げ、「常勤換算」方式を中止し安定的な体制を厚くしてください。夜勤は複数配置を義務付けてください。



### 介護部会世話人が現場を踏まえて要請 ひろしま・黒川さん

- ・現在、小規模多機能で仕事をしている。夜1人体制で5人の利用者さんを見ている。この間も1人のお世話をしていたら、もう1人の利用者さんがこけて、救急車を呼ぶこととなった。夜勤の複数配置の義務付けは緊急性を要する。



### こーぷ福祉会・棚木さん

- ・医療や介護での施設が不足する中、在宅でというのが今の流れ。そうした点ではますます生活援助が重要となっている。当たり前の生活が在宅の中で継続できるどうか。生活支援はずしはやめてほしい。



### こーぷあいち・浅井さん

- ・就職が厳しい状況がつづいている。20代の青年の手取りは15～16万。これで

は結婚も出来ない。3%アップや交付金では効果が見られない。処遇改善のための効果的な対策が必要。

### 生協労組ちば・亀井さん

- ・昨日の交流会でヘルパーさんのしゃべり場をもった。多くのヘルパーさんは昼の食事を公園などでとっている。雨の日はスーパーの軒下で食べている。これが専門性を持った労働者の実態。



厚生労働省の5項目への回答は以下のとおりでした。

1. 介護保険は享受のシステム。国庫負担増はできない。
2. 生活援助問題は議論中。しかし、掃除、洗濯、料理などは介護保険法で定められており、慎重な対応が必要と思う。
3. 施設については基盤整備計画で進行中。介護療養病棟については調査を行っているが、法改正が必要。
4. 交付金は82%の申請。平成24年度以降も継続予定（名称などは未定）。
5. 配置基準を変えると利用者や施設の負担増につながり、一律の引き上げはできない。

輝いて明日！つくろう安心の介護  
進めよう仲間づくり

### 第8回介護にはたらく仲間の全国学習交流集会」に120人集う

10月17日の日曜日、全労連会館において、「第8回介護にはたらく仲間の全国学習交

流集会」開催され、生協労連のなかまも全国から33人が参加し、学習と交流を行いました。



記念講演はノンフィクション作家で前社会保障審議会委員の沖藤典子さん。

沖藤さんは、「介護保険は出来てよかった制度です」と前置きしたうえで、この10年の制度を利用者の立場で検証。いま、軽度者を介護保険からはずす動きがでてきているなか、軽度者の生活援助を保険給付からはずさせてはならないと強調。生活援助こそが、高齢者の4本柱（経済、健康、生きがい、情報）を守る。清潔と適正な栄養を「生活の視点」から守る積極的提言を行ってほしいと訴えられました。

そのご、分科会やしゃべり場に分かれて議論や交流した後に、秋葉原駅まで元気にパレードを行いました。



すべての単組で一時金要求・職場改善要求を提出しよう

### 2010年度第1回介護部会世話人会を開催

介護部会は16日に第1回世話人会を開催し、この秋の一時金などのとりくみや労働条件改善のとりくみ、組織拡大のとりくみなどについて議論しました。

また、来年の介護事業交流会については福岡県で開催することを確認しました。